

コミュニティ交通の方向性について

1. 高浜市地域公共交通会議

承認

第2回を令和5年8月8日（火）に実施

■ 新たなコミュニティ交通の目指す姿

「誰一人取り残さない」コミュニティ交通

■ 目指す姿を達成するための運行方式

○市内コースは、AI（人工知能）を活用したデマンド型交通に運行形態を大改編します。○刈谷市コースは、現行のまま（定時定路線）の運行です。

2. AIを活用したデマンド型交通（イメージ）

会員予約に応じて、ご自宅近くの停留所から行き先の停留所まで、**乗り合わせて送迎**するサービスです。**AIが選んだ最適ルートで、直行に近い形で目的地にお届けします。**

※ 定時定路線の運行ではないため、多くの停留所を設置することができます。

「誰一人取り残さない」の実現に努めます。

3. コミュニティ交通の目指す姿（地域公共交通会議承認）

目指す姿

「誰一人取り残さない」利便性の高い市民に喜ばれる公共交通網の形成

～みんなで創る、住みやすいまちづくりの基盤～

コミュニティ交通を取り巻く社会的背景

（超高齢化社会（買い物支援、通院、免許返納、健康）、地域・経済活性化、脱炭素化など）

目標 ①**交通空白地域ゼロ**（徒歩圏に停留所設置） ②**地域、事業者と連携強化**（停留所設置やイベントと連携） ③**市民満足度向上**（乗換時間の短縮、利便性の向上） ④**利用者増加**

取組

停留所の設置及び利用
促進等に**地域、事業者と
ともに**取り組みます！

コミュニティバスの持続
性を高めるため、**商店等
との連携を強化**します！

**外出促進など様々な施策
と連携**し、市民満足度が
高まる取組を進めます！

市内を気兼ねなく、ちょっと移動できる足ができると…

（通院支援、買い物支援、外出促進、健康増進、介護予防、免許返納推進、商店活性化等）

もっと自分らしく、安心して生活できる住みやすいまちの実現を図ります！